



Izumi Hall
NEWS RELEASE

訃報 いずみホール音楽ディレクター 礒山雅

2018年2月23日

いずみホール

いずみホール音楽ディレクター 礒山雅（いそやま ただし）は2018年2月22日朝、逝去いたしました。71歳でした。東京で大雪となっていた2018年1月27日夜に、凍った路上で転倒し頭を強打、救急搬送され治療を受けていましたが、外傷性頭蓋内損傷のため、そのまま帰らぬ人となりました。

ここに生前のご厚誼を深く感謝するとともに、謹んでお知らせいたします。

礒山企画を楽しみにしてくださっている音楽ファンの皆様には、大変つらいお知らせとなり、残念ではありません。ホールスタッフ一同、深い悲しみに沈んでおります。

礒山雅は、1990年4月のいずみホールの開館、その準備段階から主催事業の企画立案、広報などを主導してきました。「音楽の原点への旅シリーズ」などを立ち上げ、「主張ある音楽ホール」としてのいずみホールを世に印象づけました。毎年の年間企画、「ウィーン音楽祭 in OSAKA」、「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」などの画期的な企画を次々に発表、27年にわたり、いずみホールの今日を築き上げてきました。企画立案だけではなく、舞台上で解説を行い、ホール情報誌や公演プログラムでの執筆を通して、専門的な内容をわかりやすく伝え、音楽の真の魅力を広めてきました。揺るぎない見識と、休憩中にロビーに立って来場者と会話する気さくな人柄は、多くのファンを得てきました。

2018年度秋からは、礒山音楽ディレクターの専門とするバロック音楽に特化した3年にわたるシリーズ「古楽最前線！～躍動するバロック」をスタートさせる予定であり、礒山音楽ディレクターも記者会見を目前に、意欲に満ちていました。また、芸術監督をつとめる7年間の「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」もあと3回を残すところまでとなっていました。

まさに、その矢先にこのような不幸な事態になるとは、思いもよらないことでした。

これからは、礒山音楽ディレクターと計画してきた企画を実現させることで、いずみホールとして、そのご遺志を継いでいきたいと考えています。

礒山雅音楽ディレクターの、いずみホールに対する長年のご尽力に感謝の意を表し、謹んで哀悼の意を捧げます。